

卒業設計（A 専門科目）

=====

科目名：

卒業設計（英文科目名：Graduation Design）

4単位 建築学科5年 通年 演習

担当教官：

建築学科全教官（居室：建築学科棟）

授業目的：

テーマ決定から調査・条件整理・計画・設計までの問題把握から提案にいたる一連の作業を各自が行い、建築学科の設計製図の集大成とする。

達成目標：

1. 各自が企画し、最終発表までを各自の責任で達成する。

教科書：

特定の教科書はない

参考書：

建築学科すべての授業科目の教科書

各種建築・デザイン関連雑誌

学習方法：

予習-教官のチェックに耐えられるものを前もって準備する。

授業-各自のエスキースに対して複数の教官がチェックし、個別面接で討議する形式で進める。

復習-

学習保証時間：

$200（分/週） \times 30（週年） = 6000（分/年） = 100（時間年）$

キーワード：

設計、意匠、構造、木造、鉄筋コンクリート構造、鋼構造

授業内容：

「意匠コース」と「構造コース」の選択制で、それぞれのコースに更に細分化されたコースがある。

学生の適性と希望に応じ、また、テーマに応じて個別の指導がなされる。

基本的には学生自身が計画を立てて、設計を進めることになる。

コースによっては、卒業研究との関係で日程が決められるので注意すること。

終了後、作品発表が義務づけられている。

授業方法：

ほぼ各週にいて、計画進捗状況のチェックを複数教官の前で発表してもらう。

カリキュラム中の位置づけ：

卒業研究と並んで建築学科のカリキュラムの集大成である。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

全科目

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築計画演習、建築構造演習

この科目の後に学ぶ関連科目

評価方法：

完成した作品の評価で行う。コースによっては何回かの中間審査があり、その評価を総合する。

連絡事項：

卒業研究や5年生での選択科目との関連が深いので、コース選択に注意すること。

テーマ決定が重要であるので各自前もって考えておくこと。

コースによっては、卒業研究との関係で日程が決められるので注意すること。

CAD利用が義務づけられるコースもある。

適宜個別に相談に応じる。

学生へのメッセージ：

建築学科科目内で、卒業研究と卒業設計が5年間の集大成科目となっている。

5年間で学んだことを基に、各学生の実力を十分に発揮して欲しい。

=====